

33 MICE誘致を始めとする外国人の来訪促進について

(総務省、外務省、経済産業省、国土交通省)

【内容】

- (1) 大規模国際会議や政府系会議を始めとするMICEの開催に向けて、地域におけるMICE誘致の取組に対する支援を継続すること。また、グローバルMICE都市が行う誘致活動との連携や支援を強化すること。
- (2) 空港の入国手続きの迅速化を図るファーストレーンについて、MICE誘致の観点から、その利用対象者を国際会議参加者に加えて、展示会参加者等も対象とするなど、地域の状況に応じた柔軟な運用を図ること。
- (3) 地域の交流人口の拡大や経済の活性化につながる訪日外国人旅行者誘客促進に向けて、日本の魅力を発信する訪日プロモーション地方連携事業を拡大すること。また、公衆無線LAN環境の整備や宿泊施設・公共交通機関等の多言語化、コミュニケーションツールの充実など、外国人が旅行しやすい環境の整備を迅速に推進すること。

※MICE：企業などが行う会議(Meeting)、企業が行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、イベント/展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字をとったもの。

(背景)

- 本県では平成27年(2015年)に観光局を設置し、観光PRのためのキーワード「“Heart”of JAPAN~Technology&Tradition」及びロゴマークの作成に加え、多言語観光サイト『Aichi Now』を開設し、海外に向けた情報発信の強化に取り組んでいる。
- 愛知県と名古屋市は平成27年度から観光庁による「グローバルMICE都市」に位置付けられている。同年4月には経済界や大学を含む地域のMICE関係者が一丸となって「愛知・名古屋MICE推進協議会」を設立し、MICEの誘致・開催に向けた受入環境・体制の強化を進めているほか、特に県において国の地方創生推進交付金を活用して大規模国際会議への助成制度を創設し、積極的な誘致活動を展開している。今後、MICEに関する我が国の国際競争力をさらに高めていくためには、引き続き、各都市による誘致・開催への支援を強化することが必要である。
- ファーストレーンについては、中部国際空港へ設置される予定であるが、本県では、国内初となる国際空港直結の国際展示場を平成31年(2019年)9月に開業予定としているため、利用対象者の拡大により更なる利便性の向上を図り、海外から展示会の出展者や来場者を呼び込んでいく。

- ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の大規模イベントの開催効果を広く波及させるためには、地域の文化や魅力を発信する訪日プロモーション地方連携事業を強力に推進することが重要である。
- 国が訪日外国人旅行者を対象に実施した「旅行中に困ったこと」に関するアンケートでは、コミュニケーションの困難さ・無料公衆無線LAN環境・多言語による情報提供の乏しさが上位に挙がっており、早急な対応が必要となっている。国においては、観光案内所・宿泊施設等に対し外国人旅行者の受入環境整備に係る事業費の一部を補助する「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業・旅行環境整備事業」が平成30年度当初においても予算措置がされているが、さらなる外国人旅行者の受入環境向上を図るため、国による支援の継続と拡充が必要である。

(参 考)

◇観光PRのためのキャッチワード・ロゴマーク



◇国際会議の開催件数（上位7都道府県の推移）

順位	2014年		2015年		2016年	
	県名	件数	県名	件数	県名	件数
1	東京都	565	東京都	583	東京都	593
2	福岡県	411	福岡県	450	福岡県	488
3	大阪府	253	大阪府	242	京都府	291
4	京都府	211	京都府	230	兵庫県	283
5	神奈川県	208	宮城県	225	大阪府	280
6	愛知県	179	神奈川県	193	愛知県	210
7	北海道	107	愛知県	187	神奈川県	190
全国	2,590		2,847		3,121	

※日本政府観光局(JNTO)資料